

# (一社) 山口県介護支援専門員協会 第2回常任理事会 概要

開催日 平成29年2月20日(月) 午後4時30分から6時30分まで

会場 事務局(山口県社会福祉会館 4階)

参加者 佐々木会長、堀田理事(広報事業部)、山本理事(公益事業部)  
上野理事(調査研究部)、岩神理事(生涯研修部)

事務局 福本かおる

## 1 報告事項

- 平成28年度予算執行状況について

※事務局より1月末時点の執行状況について説明。

収入は概ね予算通りとなっており、支出を抑えられたため、次年度繰越金が1,200万を見込んでおり、単年度で600万円程度の収益となった。

次年度以降、実務研修のハードさが伝わり受講者数が減ってくることで、主任更新も1度更新した後に主任を退く人が増えてくるため、受講要件研修受講者も減ってくると予想される。収益が上がっているが、固定費は変わらないため、決して見通しが明るいわけではない。今年度は法人化1年目として不安定の中スタートしたため、次年度は研修の参加費を下げる等、会員の負担軽減にも努めていく。

## 2 協議事項

- (1) 各部会の活動状況、次年度計画について

広報事業部では今年度の活動として、年2回の広報誌発行の今回2号の記事を作成している。4月発送の日本協会の発送便に入れるため準備を進めている。次年度に向けてHPの運用、会員同士が交流できる企画を考えていく。

広報誌の総合支援事業の記事については次回部会で検討し、地域協議会ページが今回周防大島で一巡したので、次のテーマを検討する。

公益事業部では次年度社会資源の集約を行い、会員に対して有益な情報を整理できるようホームページで公開していく。会員管理システムの運用を検討し、個人が受講した研修が管理できるシステム作り、いずれは法定研修の受講管理もできるよう連携していく。

生涯研修部では次年度年間を通じて、各研修に家族支援の視点を入れて講師に依頼する。前年度と同等の回数で検討している。精神疾患研修では午前中に統合失調症、午後はパーソナリティーの歪み等の内容で半日ずつの受講組み立てをしている。新人教育は3本建てとなっているが、それぞれ受講ができるようにしている。施設研修は午前には弁護士の先生に講義、事例紹介をいただき、午後は種別毎にグループワークを行う。医療ニーズ研修は障害者支援から精神疾患に変わる援助をテーマに検討する。主任更新受講要件研修は5本企画し、演習を含めながら会場を選択できるように行う。

西部会場で実施する場合に、安価で駐車場が確保できる場所を探していき、理事へも会場について呼びかける。更新研修については現状維持、自主研修については受講生の負担が軽減できるように実施する。

調査研究部では研究サポート、調査研究の取組2本で検討している。研究大会の研究発表が輪番制でしか上がってこないため、今後の取組として研修サポートをどのように行うか、県立大学の横山先生に相談している。大会のテーマに沿った発表となると準備が遅れるため、取り組みたいテーマについて募集をしていきたい。圏域の輪番制と広く募集を行う。県協会のサポートとして登録制度を設け、指導を行う。

(2) 平成29年度事業計画の報告制について

※別紙資料平成29年度事業計画(案)参照

各部の活動内容等、各自で確認いただき、意見があれば会長へ連絡する。

(3) 平成29年度収支予算(案)について

※別紙資料平成29年度収支予算(案)参照

事業計画、各部の方向性が見えたので、収支予算(案)について再度修正し、理事会で提示する。

(4) 日本協会役員について

次年度日本協会の役員改正となるが、代議員の選出について、山口県の28年度会員数500名に対して1名の選出となるため、29年度は4名の選出となる。橘副会長はブロック理事と兼ねるため、二井副会長、山本誠理事、藤本真樹理事と佐々木会長の4名の選出を検討する。

(5) 費用弁償規程について

代議員総会の出席に対し旅費を出してほしいとの意見が岩国地域よりあった。現在の規程では費用弁償の対象となっていないが、支払う場合に、個人の距離計算、振込等、事務局負担が大きくなる。各地域の市役所からの距離×人数で積算し、地域で参加者へ支払っていただく等、今後規程を見直すかも含め検討していく。